



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 七井 真人

■ 第4回役員会を開催

第4回役員会を3月19日開催しました。細岡会長は会議に先立ち「いよいよ春の到来を感じられる季節となりました。また、春闘の時期でもあります。今年の春闘は経団連が官製春闘をけん制したことで「賃上げ圧力が和らいでいる」との意見が出始め、世界経済の鈍化を背景に企業業績にも下方圧力が強まっており、「賃上げが加速するというよりは鈍化のリスクを警戒している」との見方も強まっているようです。

海外に目を転じますと、イギリスのEU離脱交渉の行方は未だに迷走状態にあるほか、米国、欧州、中国、日本など主要国の景気減速が目立ち始め、世界全体の景気後退懸念が再び強まった感があります。

そのような中、これまでの皆様による要望活動の成果として、主要地方道宇都宮向田線大塚工区が3月11日開通いたしました。私は開通式でくす玉割りの役割を仰せ付けられました。

過日、栃木県知事との意見交換会の場で、知事は「芳工連から要望があったテクノ街道完全4車線化については、開通後の状況を見て、次の段階で時期を探ることになると思います」と言及していました。芳工連としてはテクノ街道の完全4車化実現を継続して要望してまいります。

本日は芳工連今期最後の役員会です、春は人事異動の季節でもあり、芳工連役員の中でも県外に転出される方がおられ、5月の総会を待たずに交代されます。この場をお借りしてお礼を申し上げます。また、通常の活動に加え創立30周年記念事業の企画運営にも積極的に参加いただき、誠に有難うございます」などと挨拶しました。

事業実績及び収支決算見込み、役員・部会長異動人事の2報告事項は承認されました。

協議事項は、次年度の事業計画（案）及び収支予算（案）、30周年記念事業の事業実績、事業計画（案）及び収支予算（案）、会則の一部改正並びに表彰規程設定など9議案でした。

また、第30回通常総会を5月24日（金）午後3時30分から管理センターで開催することを決定。4月23日（火）午後1時30分からは総会に上程する議案を審議する役員会を正副部会長の同席を求め開催することを決定。

創立30周年記念式典開催は10月4日（金）に決定。創立30周年記念事業実行委員会の記念事業部及び記念誌発行部の事業実績が承認され、次年度の事業計画（案）及び収支予算（案）についても可決・決定しました。



■ 4 部会 事業実績及び次年度計画（案）など審議

■ 総務企画部会

第3回総務企画部会を3月7日、9社9名の参加により開催しました。中山部会長は「30周年記念事業は皆さまのご協力で計画どおり進捗しています。本番に向けて皆さまのご協力をお願いしたいのでよろしくお願いいたします」と挨拶しました。

本年度の事業実績と決算見込みが承認され、平成31年度の事業計画（案）を決定しました。

次年度の主な事業計画は、会員相互の情報交換や親睦を深めるスポーツ大会、新入社員基礎研修や初級管理者研修などの人材育成研修です。予算に関する詳細は正副部会長に一任することを決定しました。



■ 環境整備部会

第3回環境整備部会を3月5日、11社11名の参加で開催しました。

半田部会長は「お忙しい中にもかかわらずご出席をいただき感謝します。皆さまのご協力で予定した事業を無事に執行することが出来そうです。本日は事業の実績と次年度計画についてご意見を申し上げます」と挨拶しました。

本年度の事業実績と収支決算見込みが承認されました。また、資源ごみ回収事業収益は約18トンで約6万円、町奨励金が約9万円あったことを報告しました。平成31年度事業計画（案）は、本年度と同様に工業団地内の環境整備推進活動、環境美化の向上に資するクリーン作戦などの実施を決定しました。その他、創立30周年記念事業の周知活動として出展する「さくら祭り」抽選会の実施要領などを説明しました。



■ 安全衛生部会

安全衛生部会の第3回部会は3月6日、11社11名の参加により開催しました。

高山部会長が「来週13日に今年度最後の事業である優良企業視察研修会を控えているが、今年度は新事業の導入もあったなか順調に事業を執行できている。皆さまのご協力に感謝したい」と挨拶しました。

事業実績及び決算見込みについて、部会長が詳細な説明をして承認されました。

次年度の事業計画（案）は、創立30周年記念事業式典を10月に予定していることから、健康づくり事業や安全活動事例発表会を前倒して開催することを決定。また、予算（案）は今年度実績を踏まえ、事業内容を充実したいので増額要求することを決定しました。



■ 交通防犯部会

第3回交通防犯部会は3月4日、15社15名の出席で開催されました。

種子部会長は「昨年6月の総会以降にスタートした本部会の活動は間もなく1年を迎えようとしています。本日は事業実績を確認いただき、皆さまからのご意見を頂戴し、次年度の事業計画に反映したいと思っております。引き続き部会活動を盛り上げていきたいと思っております」などと挨拶。

協議事項に先立ち、新規会員として交通防犯部会所属となったエヌエヌ商事(株)の黒崎伸孔経営戦略本部執行役が挨拶しました。また、社内異動で担当者の交代があった2社についても新担当者から自己紹介がありました。

協議事項の平成30年度事業実績及び決算報告については、全員の賛成で原案どおり承認されました。平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)については、お二人から「LRT 整備事業が進捗する中でトランジットセンター計画が説明されていない。情報提供を求めたいので定期的な説明会開催を要望する」、「駐車スペースの利用計画を含むトランジットセンターの運用計画の説明を求めたい」旨の発言がありました。種子部会長は「ご意見をもとに次年度は町に説明を求め、情報を共有するよう努めたい」と発言しました。



■ 30周年事業 花の種 贈呈

30周年事業実行委員会代表者が3月5日、芳賀北小学校の児童代表者に花の種(ひまわり)を贈呈しました。

創立30周年記念事業では「ありがとうの30年 地域と共に 活力ある明日へ」のコンセプトを掲げ、これまでの地域への感謝の気持ち、未来創造の訴求に向け、記憶に残るイベントを企画しています。今回の花の種贈呈は周知活動の一環として実施した事業です。

訪問の30周年事業実行委員は、記念事業部に所属する渡邊副会長、中山委員、半田委員、鎌上委員、西片委員、川野委員と事務局長七井です。

渡邊副会長が「夏の暑さに負けず、太陽をまっすぐに見上げるひまわりのように、未来に向かって歩んでください」などと挨拶しました。

それぞれの実行委員さんから、代表児童に花の種とともに会員企業や芳工連活動を紹介するパンフレットを贈りました。

パンフレットには、かしの森公園で4月6日(土)実施される、さくら祭り会場の芳工連ブースでくじ引きできる抽選券が付いています。



この日は、町内小学校児童（新入生を含む）と芳賀中学校生徒、合計 1,490 人分を配布しました。

■ 第 5 回 創立 30 周年記念事業実行委員会開催

創立 30 周年記念実行委員会（細岡大委員長）は 3 月 19 日、第 5 回実行委員会をメンバー 12 名と事務局 3 名の出席により開催しました。

協議内容は、平成 30 年度の事業実績及び収支決算、平成 31 年度の事業計画（案）及び収支予算（案）についてです。



■ 事業実績

創立 30 周年記念事業実行委員会の事業実績を振り返って見ると、5 回の実行委員会に 43 名が出席しました。実行委員会に設置された記念事業部、記念誌発行部それぞれが企画検討を重ね各種事業を執行してきました。

記念事業部においては、15 回開催した企画検討会議などに 84 名が出席しています。記念誌発行部においては、8 回の会議及び対談などに 43 名が出席しています。これら 28 回の会議等に延べ 170 名が参加しています。

実行委員の皆さまには、業務多忙の中ですが、万障繰り合わせご尽力いただきました。有難く改めて感謝を申し上げます。

周知活動の実行状況

項目	活動概要	時期
1 のぼり旗掲出	82 企業へ 2 枚配布	2/1～
2 バスエプロン貼付	3 社のバス運行会社へエプロン貼付の協力依頼	4/1～
3 記念事業周知封筒	「ありがとうの 30 年・・・」と印刷した封筒を使用開始	2/1～
4 花の種（ひまわり）贈呈	町内小中学校へ贈呈、抽選券付き芳工連パンフレット配布	3/5 実施
5 さくら祭り出展準備	出展運営企画、抽選会景品と粗品配布の準備作業	4/6 予定



■ 世界最先端のマザー工場を視察

3月13日開催した安全衛生部会と環境整備部会主催の優良企業視察研修会に17社から30名の皆さまが参加されました。

研修先は本田技研工業（株）寄居完成車工場です。

往路バス車中では、参加者全員から自己紹介や企業紹介をしていただきました。初参加の方も多かったのですが、和やかな雰囲気の中で親しく楽しい語らいができました。

自己紹介により、本田技研工業（株）様や（株）

本田技術研究所様と取引がある企業の若手技術者も多数参加していることが分かりました。自分たちの供給部品や協力してきたシステムがどのように活かされているか、或いは製造過程でどのように組み込まれるか興味を持って参加した、との話を伺うことが出来ました。

工場では、最初にウェルカムセンターで担当者から、次のような概要説明がありました。寄居完成車工場は2013年3月に竣工した世界トップクラスの工場とのことです。

ホンダ車年間生産台数500万台のうち、国内は鈴鹿50万台、埼玉で50万台（狭山25万台、寄居25万台）とのことです。

この工場の目指すところは、①競争力ある生産技術の確立 ②海外生産拠点へ技術を発信するマザー工場です。

敷地は950,000㎡、建物は223,000㎡です。年間25万台の生産、一日1,050台を2直体制で生産しています。車種はフィット、グレース、ベゼル、CR-V、インサイトです。

勤務する従業員は2,800人で、おもに川越市、小川町、狭山市などから勤務する方が多いとのことですが、年を追って近隣市町村在住の従業員比率が高まっているそうです。

製造工程の特徴などについて動画で詳しい説明がありました。

プレス工程は、レーザーブランキングという新技術で自動的にプレスされるそうです。高速レーザーカットは切断速度が従来の4倍の能力があるそうです。

溶接工程は、コンパクトな溶接ラインで低炭素、強度アップと車体軽量化を実現したそうです。また、品質改善スピードアップを実現しています。

塗装工程は、3C2B塗装という新技術を採用して、量産車、新機種の品質熟成をアップしたとのことです。

組み立て工程は、マルチサンペンションマウントという、人に優しい環境と自動化による高効率生産を実現したとのことです。

いよいよ工場内の見学。バスでゲートを通過して広大な工場内にご案内いただきました。縦横約1kmという広大な敷地には、スカイウォークという歩道がありました。従業員は地上を歩かず、工場内の建物間を移動できる歩道が高い上空に設置され、安全と作業効率が確保されています。



組立モジュールを最初に見学しました。組立てラインに段取り良く地下から運ばれる重量部品、左右からも次々と部品が供給され、無駄なく作業員は部品を組み込み、頭上のベルトコンベアーで車体が次の工程に流れて行きます。

次に、溶接工程の見学です。ここではロボットが何台も同時に駆動して溶接する様子は圧巻でした。軽量化と強度を高める技術がここにあるそうです。

工場内は綺麗で、人に優しい環境であることは一目瞭然です。しかも安全が確保されていることが視察を通して受けた印象でした。

このような、競争力のある生産技術を海外生産拠点に発信する、最先端の工場の見学をすることができ、大変有意義な視察研修となりました。

■ 宇都宮向田線バイパス 開通式を挙行

栃木県県土整備部は3月10日、主要地方道宇都宮向田線平出板戸工区と大塚工区の開通式を実施しました。

ゆいの杜地内の県産業技術センターで行われた開通式には地元の国会議員、県議会議員、宇都宮市長、芳賀町長はじめ国土交通省関東地方整備局職員など多くの来賓が出席されました。来賓として芳工連細岡会長が招待を受け参列しました。

この路線は、宇都宮市と那須烏山市とを連絡する幹線道路であるとともに、鬼怒川左岸に位置する大規模工業団地群へのアクセス道路にもなっており、産業・経済活動を支える上で重要な役割を担っています。

しかし、朝夕の通勤時間帯を中心に深刻な交通渋滞が発生し、通勤・通学などの日常生活や地域経済活動の大きな妨げになっていたことから、安全で円滑な道路の早期完成が望まれていました。

従来の曲がりくねった高低差の大きい狭隘で危険な道路、そして増加する交通量に対応できない朝夕の交通渋滞が大塚工区の課題でした。芳工連はこれらの課題解決のため、関係する行政機関へ長年に亘り早期完成を要望してきました。

主催者挨拶で福田富一知事は「この平出板戸工区と大塚工区の開通により、本地域の交通渋滞が大きく緩和され、地域高規格道路と一体となった道路ネットワークが形成された。物流の効率化や地域の発展、地域間の交流・連携の促進に寄与できる」と述べました。

通り初め式は、大塚工区地内に場所を移し執り行われました。アトラクションで演奏された芳賀口マン太鼓の音が大空に響き渡りました。

交通安全祈願、テープカットが代表者により行われ、くす玉開披に細岡会長が参加しました。

「通り初め」は、県警察本部のNSXのパトカーを先導に招待者が次々に通行しました。

(株)本田技術研究所四輪R&Dセンターとホンダエンジニアリング(株)のNSX3台の走行が花を添えました。



■ 30周年記念特別ブース ご案内

芳賀町観光協会は、4月1日（月）から4月14日（日）まで第27回さくら祭りを開催します。

創立30周年記念事業実行委員会は4月6日（土）、周知活動の一環として特別ブースを出展します。

町内の小中学生などに多数来場いただけるよう、3月5日の花の種贈呈に合わせ、芳工連ブースでくじ引きできる抽選券付きパンフレットを配布してあります。

「ありがたいの30年 地域と共に 活力ある明日へ」の創立30周年記念事業コンセプトにあるように、これまでの地域への感謝の気持ちを込めて実施する企画の一つです。

趣旨に賛同いただき、多くの会員企業様から景品の提供をいただきました。誠に有り難うございました。

会員企業の皆さまも是非、会場へお出掛けください。



■ 交通安全対策連絡協議会開催

町交通安全対策連絡協議会が3月25日、交通安全協会支部長、自治会代表者、町内小中学校長、町内駐在所警察官など交通安全対策に関係する代表者等の出席により開催されました。

芳工連から種子俊明交通防犯部会長と事務局長七井が出席しました。

連絡協議会の見目会長（芳賀町長）は「町内で平成30年中に交通事故は35件、そして4人が交通事故で死亡している。これは県内市町で人口1万人あたりワースト1位である。平成31年度は危険箇所や交通事故多発地点を交通安全協会や自治体の皆さまと合同で現地調査し、多くの皆さまへ危険箇所を周知して交通事故防止に努めたい」などと挨拶しました。



■ 真岡警察署交通課長の説明

横断歩道に接近する場合は減速し、歩行者がいる場合は一時停止を徹底して欲しい。横断歩行者を安全に横断させていただきたい。栃木県の交差点横断歩道での一時停止は0.8%だが長野県は70%が停止している。歩行者に優しい運転をお願いしたい、と説明しました。

■ 平成31年度交通安全対策の重点

- ①交通安全思想の普及・啓発活動、②高齢者の交通事故防止対策
- ③事故発生場所の調査と安全な道路交通環境の整備

■ 春の交通安全県民総ぐるみ運動

運動期間は5月11日（土）から20日（月）まで。工業団地管理センター前交差点で15日（水）に街頭広報活動を実施します。



■ 名称変更のお知らせ

■ 宇都宮営業所に変更

日本梱包運輸倉庫株式会社栃木営業所様から、営業所名称を変更する旨の通知をいただきました。

4月1日から日本梱包運輸倉庫株式会社宇都宮営業所に変更となります。

日本梱包運輸倉庫株式会社様は、宇都宮市ゆいの杜地内に2015年10月に宇都宮倉庫を建設、さらに2018年12月の拡張で県内最大規模（12,000坪）を誇る新倉庫を竣工しています。芳賀工業団地の既存倉庫（4,650坪）と隣接していることから更なる事業拡大が期待されています。



■ まとめて編集後記

日頃、芳工連だよりをご愛読いただきまして有難うございます。2014年4月から5年間、芳工連事務局長を務めさせていただきましたが、3月末をもって私七井は退任いたします。在任中は会員企業様には大変お世話になりました。紙面をお借りして、これまでのご厚情に対しお礼を申し上げたいと存じます。

2014年5月号から2019年4月号まで編集を担当させていただきましたが、読み返すと拙文ばかりで赤面しています。しかし、幸いにも休刊することなく毎月お届けすることができ安堵しています。

役員さんや部会関係者の優しさ溢れるお人柄、好奇心をそそる知的な話題に多くの刺激を頂戴した日々でした。よい思い出が詰まった5年間です。

芳工連だより各号で編集後記を認めるべきでしたが、限られた紙面では叶いませんでした。私が担当する最後の芳工連だよりですので、まとめて編集後記を記述しようと思いました。しかし、どのように語彙を尽くしても結局のところ、この一行に凝縮してしまいます。

「有難うございました。感謝を申し上げます」



2019.3.29 記

芳工連日誌

【3月の実績】

- 4日 交通防犯部会
- 5日 環境整備部会
- 6日 安全衛生部会
- 7日 総務企画部会
- 8日 30周年記念誌発行部会
- 13日 優良事業所施設研修会
- 15日 団管連第4回幹事会
- 19日 30周年記念事業実行委員会
- 19日 第4回役員会
- 25日 芳賀町交通安全対策連絡協議会
- 27日 30周年記念誌発行部会
- 27日 資源ごみ回収

【4月の予定】

- 6日 さくら祭り特別ブース出展
- 10日～11日 新入社員基礎研修
- 16日 団管連幹事会
- 23日 役員・正副部会長合同会議
- 23日 管理センター管理組合総会
- 24日 資源ごみ回収